

今からできる！

ごみ減量のススメ

☎生活環境課 ☎30-6116 FAX 27-0395

第8回

「ごみ減量アイデア」を募集します！

ごみを減らすコツや分別の工夫など、皆さんのアイデアを募集します。ちょっとしたアイデアでも構いませんので、ぜひ、ご応募ください。

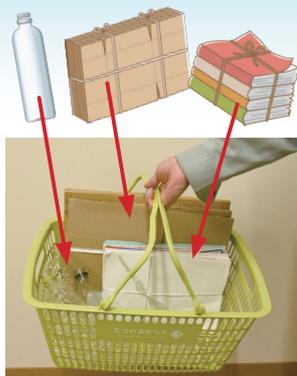
アイデアの例

▶古紙やペットボトルをマイバスケットに溜め、買い物前にリサイクルステーションが設置されているスーパーなどへ持参します。

資源をリサイクルできるうえ、そのままマイバスケットで買い物すればレジ袋も不要となり、ごみの減量と資源の有効活用につながります。



▲古紙などを回収している店舗はこちらから



▶コーヒーかすや麦茶の茶殻は、乾かしてから冷蔵庫の中などに置いておくと、消臭アイテムとして活用できます。

乾いてから捨てれば、ごみも軽くなり、ごみの減量になります。

応募方法

- ①ごみ減量アイデアの内容と効果
- ②内容が分かる画像（任意）
- ③お住いの町名（任意）
- ④氏名（任意）
- ※イニシャルやペンネーム可。
- ⑤電話番号（任意）
- ⑥メールアドレス

を記載し、応募フォーム（QRコード）またはメールで応募してください。

▼宛先▼

✉ gomigenryou@ma.city.hikone.shiga.jp



▲応募フォーム

▶彦根市ホームページ、広報ひこねなどで紹介する場合があります。

▶内容によりご連絡することがあります。

彦根城は、知れば知るほど、オモシロイ。

未来に残そう みんなのお城 -vol.34-

彦根城を世界遺産に



大名は、二つの顔を持っていた

☎彦根城世界遺産登録推進室
☎26-5833 FAX 26-5899

江戸時代の大名は、今の知事や市長のような「地方のトップ」と思われていますが、実はそれだけではありません。大名は、地方を治めるだけでなく、国の政治にも直接関わる立場でした。例えるなら、知事や市長が、国の省庁の幹部役人も兼ねていたようなものです。しかも、江戸時代には議會制度が無かったため、国務大臣や国会議員も兼ねたような存在で、大名一人ひとりがとても大きな権限を持っていました。その中でも井伊家は、将軍の助けをする特別な役割を期待されていました。

※なお、大名が江戸にいる間も、地元の城では、大名と政治方針を共有していた重臣たちが合議で政治をしていましたので、地元の政治が滞ることはありませんでした。

